

2018学年度奨学生募集 地区から指定校に対する地区独自の選考の目安

地区	<p>■キャンパス指定/高専の指定方法/地区を越える指定について等、学校個別に追加される場合があります。 ■「奨学金申込者一覧画面」内の「選考の目安」表示を必ずご確認ください。 ■地区奨励奨学金で指定された場合、奨学期間は募集要項のとおり最長1年間です。</p>
2500	<p>①国籍が1カ国に偏らない（50%を超えない）ように推薦願います。幅広い国籍から推薦願えれば幸いです。 ②出来るだけ奨学期間が1年間若しくは2年間の（半年間でない）方を推薦願います。又、原則として4月入学の方を推薦下さい。 ③他の奨学金と異なり、奨学期間中に担当のロータリークラブ活動に積極的に参加して頂く旨を本人及び担当教授に理解頂き、月1回はロータリークラブ例会に参加する必要があるため、それが可能な方を推薦願います。 ④日本語で意思疎通が出来る方を推薦下さい。 ⑤なるべく他の奨学金と併願されない方を推薦下さい。 ⑥同じ教授が複数の学生を推薦しないように協力ください。</p>
2510	<p>①ロータリーの目指す”平和と国際親善”に積極的に参加できる学生。 ②日本語習得意欲にあふれ、コミュニケーション能力があり、母国と日本の親善を深める意欲のある学生。 ③被推薦者の国籍内訳は、被推薦者枠複数ある学校は2カ国以上・被推薦者枠10名以上ある学校は3カ国以上を推薦してください。 ④最終学年を優先してください。</p>
2520	<p>①被推薦者の国籍内訳は、1カ国に偏らないようにして下さい。 ②出来るだけ最終学年に在籍する学生を優先してください。（奨学金受給期間が1年間の学生）</p>
2530	<p>①積極的に例会に出席する学生。 ②ロータリー活動に関心を示し、世話クラブの例会、家族との交流、地区ロータリー諸行事に積極的に参加できる学生。 ③被推薦者の国籍は、1カ国に偏らないようにして下さい。 ④米山奨学生として誇りを持ち、将来にわたり、母国と日本の懸け橋となり、交流を深める意欲を有する学生。 ⑤奨学期間、さらに卒業後も積極的に学友会に参加する学生。</p>
2540	<p>①米山奨学生として、将来にわたり、母国と日本の懸け橋となり交流を深める意欲を有する学生を推薦してください。 ②日本語能力が有り、意思疎通が十分に出来る能力を有する学生を推薦してください。 ③ロータリー活動に関心を示し世話クラブの例会、家族との交流、地区ロータリークラブ諸行事に積極的に参加できる学生を推薦してください。 ④卒業後も積極的に学友会へ参加していただけるような学生を推薦してください。 ⑤被推薦者の国籍内訳は、1カ国の割合を50%を超えないようにして下さい。 ⑥同じ教授が複数の学生を推薦しないようにご協力ください。 ⑦留学義務がある場合は、留学期間終了後の学生を推薦してください。</p>
2550	<p>①応募者が1つの国に偏らないようお願いいたします。 ②優秀性と同時にロータリー米山記念奨学金の目指すところが理解でき、ロータリーに関心を示し、積極的に参加できる学生。 ③奨学期間が6カ月の学生は、ロータリーの意義を理解するのに十分な期間ではないと思われるので、採用は不利になります。</p>
2560	<p>①被推薦者の国籍内訳は、1カ国に偏らないようにして下さい。 ②ロータリー活動に関心を示し、積極的に協力する学生。 ③奨学金受領期間が1年以上ある学生。 ④日本語運用能力がある学生（日本語での意思疎通ができること。日本語検定2級程度）。</p>
2570	<p>①被推薦者の国籍内訳は、1カ国に偏らないようにして下さい。 ②日本語運用能力がある学生をご推薦ください。 ③当地区（埼玉県西北部）に通える範囲内に居住の学生をご推薦ください。 ④ロータリー活動に関心があり積極的に協力する学生をご推薦ください</p>
2580	<p>①米山奨学生、学友として、将来にわたり母国と日本との懸け橋、交流を深める意欲を有するもの。 ②日本語能力があり意思疎通が十分に出来る能力を有するもの。 ③ロータリー活動を理解し、世話クラブ例会、家族との交流、ロータリー諸行事に積極的に参加できること。 ④世話クラブカウンセラーとの交流を深めるため、奨学期間を1年以上有するもの。 ⑤合格者の出身が偏らないようにするため、一つの国（地域）の出身者の占める割合を30%以下とする。 ⑥奨学期間が1年を超える合格者の割合は当地区全体の30%以下とする。 ⑦応募学生に係る大学がロータリー、米山奨学事業に対して協力的な姿勢を有すること。</p>
2590	<p>①多様な国籍と多様な分野からの学生。 ②母国と日本の親善を深め平和の懸け橋となる資質（リーダーシップと協調性等）のある学生。 ③ルールとマナーを大切に学生。 ④日本語で会話ができる学生。 ⑤ロータリー活動に積極的に参加し、奨学期間終了後も交流を続けられる学生。</p>
2600	<p>なし</p>
2610	<p>①幅広い国籍からの推薦で、被推薦者が複数の場合、1カ国の割合を50%以下にする。 ②学部及び修士、博士課程では最終学年を優先する。 ③同じ教授が複数の学生を推薦しない。 ④他奨学金との併願をしない。 ⑤原則として4月入学の学生を優先する。 ⑥人物本位での推薦をする。 ⑦経済的理由は問わない。</p>
2620	<p>①採用総数に対して奨学生の国籍を1カ国30%以内としますので、国籍が偏ると不利になります。被推薦者2名枠の大学は同じ国籍の学生は避けてください。被推薦者3名枠以上の大学は1カ国の国籍が50%を超えないようにして下さい。 ②『最終学年』で『支給期間1年』の学生を優先いたします。 ③原則として『4月入学』の学生を優先いたします。 ④日本語で意思疎通のできる学生を推薦してください。 ⑤学問、研究に今後も積極的に取り組む姿勢がある学生を推薦してください。 ⑥ロータリー活動に関心を示し、かつ積極的に協力し、将来日本と母国との親善を深めようとする学生を推薦してください。</p>

2018学年度奨学生募集 地区から指定校に対する地区独自の選考の目安

地区	<p>■キャンパス指定/高専の指定方法/地区を越える指定について等、学校個別に追加される場合があります。 ■「奨学金申込者一覧画面」内の「選考の目安」表示を必ずご確認ください。 ■地区奨励奨学金で指定された場合、奨学期間は募集要項のとおり最長1年間です。</p>
2630	<p>・米山記念奨学金制度を理解して採用面接に臨んでください。（当日質問をいたします） ・ロータリー活動に積極的に参加することができる。 ・日本語でコミュニケーションができる。 ・奨学金受領期間が1年未満の方は、交流期間は短いため推薦しないでください。 ・原則として「4月から奨学金を受領できる」を選考いたします。 ・他奨学金との併願はしないでください。</p> <p>【大学ご担当者へ選考についてご連絡】 ・次期の採用人数は、当地区では13名を予定しております。（本年度採用者率は42%） ・奨学金期間は、原則1年間になる人を優先するが、1年を超える人を推薦する場合はその理由を申込書「経歴書」内に明記してください。奨学金期間が1年を超える採用率は10%~20%程度です。 ・また、奨学金終了予定者のために、別に期間延長プログラム（6ヵ月・1年間）制度があります。 ・採用者の国籍バランスを考慮して選考しております。当地区の一つの国（地域）の採用率は40%以下です。</p>
2640	<p>①応募者が1つの国に偏らないようにご配慮願います。②なるべく最終学年を優先していただきたい。</p>
2650	<p>①被推薦者が複数の場合、被推薦者の国籍が1カ国に偏らないようにしてください。 ②ロータリー活動に関心を示し、積極的に参加協力する学生を望みます。 ③将来は母国と日本の親善を深めようとする使命感がある人を望みます。 ④日本語能力があり、意思疎通が十分に出来る学生。 ⑤奨学期間が1年間以上となる学生。（2018年4月から卒業まで1年間未満は不可）</p>
2660	<p>①被推薦者が複数の場合、1カ国が占める割合を50%以内にしてください（必ず守ってください）。 ②上記の割合を超える申込は、選考において不利になりますので、①の厳守をお願いいたします。 ③ロータリー活動に関心を示し、積極的に協力する学生。</p>
2670	<p>①複数の推薦者がいる場合、1カ国50%以内が望ましい。 ②日本語運用能力がある学生。（日本語で意思疎通が出来る者） 高知県</p>
2680	<p>①被推薦者の国籍は1カ国に偏らないようにお願いします。1カ国の割合を50%にしてください。 ②できるだけ大学院生を優先してください。 ③博士後期課程在籍者を優先してください。</p>
2690	<p>①日本語が堪能で、日本語での意思疎通に問題がないこと。 ②複数の被推薦者がいる場合、国籍が1カ国に偏らないこと、また、採用においても国籍が偏らない様に配慮。 ③被推薦者は、2018年4月に学部4年目、修士課程2年目、博士課程3年目、医学部6年目、医学系博士課程4年目に在籍する学生を基本的に採用。 ④ロータリー活動に関心をもち、積極的に世話クラブの例会・行事参加しロータリー会員と交流する意欲を持つ学生。 ⑤米山奨学生・学友として将来に亘って交流を続け、母国と日本の懸け橋として友好親善に務める意欲を持つ学生。</p>
2700	<p>①採用学生の1カ国の国籍を30%以内としていますので、国籍が偏ると不利になります。なるべく幅広い国籍から推薦してください。 ②学部生・大学院生の両方を推薦出来るときは、大学院生を優先的に推薦してください。 ③当落線上に並んだ場合、奨学期間2年の応募者を優先採用します。 ④面接は原則として日本語のみで行いますが日本語会話が困難でもかまいません。 ⑤奨学期間6カ月の応募者は、地区採用方針に合わないので、推薦されても決して採用しません。ご推薦に当たってはくれぐれもご注意ください。 ⑥試験は筆記試験・面接試験を実施します。面接試験は個人面接を基本としますが、これに加えてグループディスカッションを実施する場合があるので、ご注意ください。</p>
2710	<p>①ロータリー活動を理解し、世話クラブ例会、家族との交流、ロータリー諸行事に積極的に参加できる学生をご推薦ください。 ②将来母国と日本との親善を深めようという使命感のある学生をご推薦ください。 ③被推薦者が2名枠の学校は、同じ国籍の学生は避けてください。 ④被推薦者が3名以上枠の学校は、1カ国の国籍割合が50%を超えないようにしてください。（例：被推薦者枠が5名の場合、同じ国籍は2名までをお願いします） ⑤当地区に通える範囲内に居住の学生をご推薦ください。 ⑥出来るだけ4月に最終学年に在籍する学生を優先してください。 ⑦日本語である程度意思疎通可能な方をご推薦ください。</p>
2720	<p>なし</p>
2730	<p>①指定校からの推薦でも採用0名の可能性があります。 ②採用総数に対して奨学生の国籍を1カ国50%以内とします。 ③被推薦者の国籍が偏らないようにして下さい。 ④ロータリークラブの例会に参加する必要があります。 ⑤ロータリー活動に関心のあり、協調性のある学生をお願いします。 ⑥奨学期間終了後もできるだけ交流の持てる方をお願いします。 ⑦奨学期間終了後、当地区に残られる場合は、学友会に入会して頂きます。</p>
2740	<p>なし</p>
2750	<p>①合格者の出身国が偏らないようにするため、多様な国（地域）の出身者を推薦してください。特に被推薦者が複数の場合、被推薦者の国籍が、1カ国に偏らないようにしてください。 ②奨学金受給資格が1年以上の学生の推薦をお願いします。 ③当地区のロータリークラブへ通える範囲内に居住の学生を推薦してください【4月以降の通学キャンパスは2750地区内のこと】 ④ロータリー活動に関心を示し、積極的に参加、協力する学生を推薦してください。 ⑤日本語運用能力があり、コミュニケーション能力の優れた学生を推薦してください。 ⑥出来るだけ最終学年の学生を推薦してください。</p>

2018学年度奨学生募集 地区から指定校に対する地区独自の選考の目安

地区	<p>■キャンパス指定/高専の指定方法/地区を越える指定について等、学校個別に追加される場合があります。 ■「奨学金申込者一覧画面」内の「選考の目安」表示を必ずご確認ください。 ■地区奨励奨学金で指定された場合、奨学期間は募集要項のとおり最長1年間です。</p>
2760	<p>①修士・博士の最終学年を優先する。 ②原則1カ国3割以内。 ③協調性、コミュニケーション能力の高い方。</p>
2770	<p>①日常会話に問題がなく、日本語を理解しコミュニケーションを図れること。 ②地区の行事はもとより、世話クラブの例会や奉仕活動に積極的に参加し、ロータリアンとの交流がはかれること(例会は月に複数出席できることが望ましい) ③優秀な学生は多いが1カ国に偏らず、なるべく多くの国籍の学生を推薦してほしい。 ④より多くの学生を採用するため、最終学年の学生を多くして頂きたい。 ⑤4月入学生を優先してほしい</p>
2780	<p>①米山奨学事業の意義を理解し、将来母国との懸け橋として積極的に活動できる可能性のある学生を推薦して頂きたい。 ②最低限日本語能力は必要ですが、それ以上に全体的なコミュニケーション能力、コミュニケーションを取る強い意志のある学生を推薦して頂きたい。③ロータリー活動に理解を示し、卓話やその他事業に積極的に参加できる責任感ある学生を推薦して頂きたい。 ④1カ国に偏らず多くの国の学生を、また学部生・大学院生(博士・修士課程)の最終学年生を最優先に推薦して頂きたい。 ⑤米山奨学事業の意義、ロータリーとの交流の重要性から、受給期間が半年ではなく1年間以上が望ましいと考えています。</p>
2790	<p>①日本語で意思疎通のできる学生及び努力が認められる学生(協調性・コミュニケーション力を重視します)。面接は日本語のみで行います。 ②ロータリー活動に関心を持ち積極的に参加するとともに将来は母国と日本の親善を深めようとする使命感があること。 ③複数の被推薦者がいる場合は1カ国の国籍割合を50%以内とする。 ④できる限り最終学年を優先し、複数の被推薦者がいる場合は学部生の割合を50%以内とする。 ⑤他奨学金と異なり、奨学期間中は世話ロータリークラブの活動に積極的に参加して頂く旨を本人及び担当教授に理解を頂き、月一回以上は世話クラブへの例会出席する必要があるため、可能な方の推薦を願う。 ⑥6カ月の奨学期間は短くロータリーとの接する機会が短く、原則採用しない。 ⑦出来る限り多くの国からの奨学生を採用する為に、全体で採用学生の1カ国国籍割合を30%としていますので、学内選考において国籍が偏ると不利になります。 ⑧奨学期間2年の奨学生は全体の30%とします。</p>
2800	<p>①米山記念奨学会が募集要項に提示する内容に準じる。 ②国籍が1カ国に偏らないよう幅広い国籍から推薦願います。 ③村山、庄内、置賜の地域性(学部の分散)を考慮して推薦願います。 ④特にロータリークラブと奨学金の特徴を理解し、奨学期間中に担当のロータリークラブ活動に積極的に参加して頂く旨を本人及び担当教員に理解頂き、月1回はロータリークラブ例会に参加できる学生を推薦願います。 ⑤日本語能力があり意思疎通が十分に出来る能力を有する方の推薦を願います。</p>
2820	<p>①被推薦者の国籍は、1カ国に偏らないようにしてください。 ②コミュニケーション能力に優れている学生を推薦してください。 ③ロータリー活動を理解し積極的に参加できる学生を推薦してください。 ④2年間受給となる学生も募集致します。(全体2~3割程度)</p>
2830	なし
2840	<p>①原則として群馬県在住者 ②なるべく1カ国で50%を超えないよう考慮していただきたい ③4月入学生を優先とする</p>